

第59回（令和5年）県民功労者表彰受章者

事 績 概 要

（注）受章者の年齢については、受章日（令和5年4月14日）現在で表記しています。

事 績 概 要

地方自治功勞

水谷 隆

東員町 76歳



氏は、平成十五年四月、地域住民の推挙により、三重県議会議員に初当選してから四期十六年の永きにわたり、住民の信望を一身に集め県民福祉の向上と県政の推進に献身的な努力を重ね、地方自治の発展に寄与した。

この間、県土整備企業常任委員長、南北格差対策調査特別委員長、地域間格差対策調査特別委員長、生活文化環境森林常任委員長等の要職を歴任し、公共土木施設の整備促進や公営企業の推進をはじめ、県内における南北格差の実態調査や小規模高齢化集落の課題解決等地域力再生への尽力、地域の活性化や地域づくりにつながる公共交通ビジョン策定及び新県立博物館開館に向けた取組の推進等、委員長としての手腕を余すところなく発揮し、県政推進に多大な貢献をした。

また、平成二十九年五月から翌年五月まで、県議会副議長としてよく議長を補佐し、卓越した見識と情熱をもって円滑な議会運営に尽力した。

このほか、四日市港管理組合議会議員、都市計画審議会委員に就任し、各分野において的確な指針と助言を与えた。

このように、氏の地方自治の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

地方自治功労

田中 俊行

四日市市 71歳



氏は、平成十一年四月、地域住民の推挙により、三重県議会議員に初当選して以来二期八年にわたり、住民の信望を一身に集め、県政の推進と県民福祉の向上に献身的な努力を重ねた。この間、教育警察常任委員長、産業政策調査特別委員長等の要職を歴任し、教育環境や警察組織運営の整備促進等に多大な貢献をした。

平成二十年十二月には、四日市市長に就任し、平成二十八年までの二期八年にわたり在職した。この間、徹底的な行財政改革による歳出削減、積極的な企業誘致等を進め、市の財政基盤の安定を図った。また、目指すべき都市像として「みんなが誇りを持てるまち四日市」を掲げ、平成二十七年の「四日市公害と環境未来館」の開館等により、「公害を克服した環境先進都市」といった都市イメージの構築に大きく貢献した。さらに、平成二十四年に浮上した近鉄内部・八王子線の存廃問題に際し、事業者に対して粘り強く交渉を重ね、市民の希望であった同線の鉄道としての存続を実現した。これにより平成二十七年に開業した「四日市あすなろう鉄道」は、市民にとって重要な交通手段であることはもちろん、全国で数少ない特殊狭軌線として、同市の重要な観光資源となっている。

このように、氏の地方自治の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

文化功勞 三重フィルハーモニー交響楽団
津市 昭和46年6月設立



本楽団は、県内初の本格的な交響楽団として昭和四十六年に結成されて以来、様々な職業や年齢の団員で自主運営されている。令和四年に四十九回目を迎えた定期演奏会をはじめ、「三重フィルチャリティーコンサート」や年末恒例の「三重音楽祭」を開催するなど、五十年以上の永きにわたり、県民に生のオーケストラ音楽を鑑賞する機会と喜びを提供してきた。

指揮者には常に国内外で活躍する著名指揮者を招き、楽団員は日々演奏技量の研鑽に努めており、平成二年には東京サントリーホールでの公演を成功させるなど、地方オーケストラの中でも全国的に高い評価を得ている。

また、県や市町の文化行事に数多く参加し、とりわけ、平成六年に三重県で開催された国民文化祭では、創作オペラや器楽諸部門における演奏の他、実行委員等の役割も担い、同文化祭の成功に多大な貢献をした。

さらに、県内オーケストラの先駆者として、三重ジュニア管弦楽団や三重大学管弦楽団、吹奏楽部に所属する中高生への指導を行うなど、県内芸術文化の振興に向けた次世代育成活動も活発に展開している。

このように、本楽団の芸術文化の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

学術文化功労

菅原 洋一

津市 70歳



氏は、建築・工学の分野において、昭和五十六年から三重大学で教鞭をとり、平成十九年から教授、平成三十年からは名誉教授として、学生の指導・育成に尽力するとともに、建造物の専門家として、多くの歴史的建造物の調査や修理への的確な指導・助言を通じ、県内の文化財保護・研究を主導してきた。

平成十年九月には、三重県文化財保護審議会委員に就任し、十八年の永きにわたり、県内の文化財保護に尽力した。その間、高度な専門知識と豊富な経験により、県指定文化財の審議において、指定候補文化財の価値を的確に判断し、県教育委員会の諮問に応じた。平成二十二年九月から同二十八年九月までは、同審議会会長を務め、会の総括という重責を担った。

また、平成二十七年度から同二十九年度には、重要文化財の専修寺御影堂・如来堂調査委員会の委員長として、同建造物の評価を総括し、国宝指定へと導いた。

さらに、関宿（亀山市）のほか、奈良井宿及び木曾平沢（長野県塩尻市）の伝統的建造物群保存地区保存審議会委員を務めており、広く県内外の文化財保護に貢献している。

このように、氏の学術文化の振興に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

社会福祉功労

中内 中

名張市 74歳



氏は、平成七年に保護司を委嘱されて以来、二十七年余の永きにわたり、厚い信望と優れた人格をもって、犯罪をした者や非行のある少年の改善更生及び社会復帰並びに地域における犯罪予防活動等に献身的に取り組んできた。氏の地域社会の理解と協力を得ながらの処遇活動は、他の保護司の模範となっている。

平成二十三年から名張保護司会会長に就任し、地域の関係機関や協力組織と協働し充実した犯罪予防活動を展開するなど、同会の発展に寄与した。平成三十年には三重県保護司会連合会会長に就任し、会の中心として優れたリーダーシップを発揮し、県内十六保護区の保護司代表として、同連合会の充実・発展に尽力した。また、同年には中部地方保護司連盟副会長に就任するなど、県内にとどまらず中部地方全体へ活動の場を広げ、保護司組織の機能強化と活動の充実に多大な貢献をした。

さらに、平成十九年から薬物乱用防止指導員として、薬物乱用により保護観察になった者の更生に取り組むとともに、地域における薬物乱用防止運動を積極的に推進し、安全・安心なまちづくりと薬物乱用者の再犯防止に尽力している。

このように、氏の社会福祉の向上に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

保健衛生功労

水谷 良子

津市 76歳



氏は、昭和四十三年に三重県立大学医学部附属病院（現国立大学法人三重大学医学部附属病院）に入職後、看護師の職務に永年携わり、県内唯一の大学病院としての使命である高度先進医療を提供する看護師として、臨床での活動を行い、県民の病気の治癒過程に大きく貢献した。また、看護管理者として、看護職の人材確保に取り組んだほか、国際交流に興味を持ち、広い視野で看護実践を行える看護職等の育成にも尽力するとともに、地域の看護職と連携することで看護の質の向上に努めた。

平成十九年に社団法人（現公益社団法人）三重県看護協会副会長、平成二十一年には会長に就任し、県内の看護職の代表としてリーダーシップを発揮するとともに、離職防止のための新人看護職員研修体制を構築した。また、平成二十一年に三重県訪問看護ステーション連絡協議会会長に就任し、在宅ケアを担う看護職の教育に努め、県民が安心して在宅療養ができるよう支援体制を整備した。

このほか、三重県医療審議会委員や三重県社会福祉協議会理事等を歴任し、積極的な提言を行うなど、保健・医療・福祉分野の質の向上に尽力した。

このように、氏の高度医療及び地域・在宅医療の向上に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

商工業功勞

種橋 潤治

四日市市 72歳



氏は、平成二十五年十一月に四日市商工会議所副会頭に就任して以来、優れた指導力と高い行動力により、四日市商工会議所会頭、三重県商工会議所連合会会長等の要職を歴任した。

特に、新型コロナウイルス感染症への対応においては、三重県商工会議所連合会会長としてリーダーシップを発揮し、影響を受けた県内事業者に対する支援及びアフターコロナを見据えた「新しい社会創り」に取り組み、地域経済の再生に尽力した。また、四日市商工会議所会頭として、中小企業・小規模事業者にとって、従来ハードルが高かった海外展開事業を含めた販路開拓支援事業を積極的に展開するとともに、大型客船寄港時の着地型観光に着目し、地場産品を活用した着地型観光プランを提唱するなど観光振興にも多大な貢献をした。

さらに、株式会社三重銀行（現株式会社三十三銀行）では代表取締役頭取、代表取締役会長を務め、創業・新事業に対する支援や県内大学との産学連携事業の推進を行うなど、地元根差した金融機関として、地域活性化に積極的に取り組んだ。

このように、氏の商工業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

商工業功労

辻 保彦

松阪市 79歳



氏は、平成二十四年六月に三重県中小企業団体中央会の理事に就任し、豊富な知識と経験を生かした活動を展開するとともに、労働専門委員会の委員として、長時間労働抑制の対策に係る補助・助成の拡充、働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮等、国並びに県に対し要望を積極的に提言し、県内中小企業の経営改善や労働環境の整備に尽力した。

また、平成十九年四月に松阪木質バイオマス熱利用協同組合の理事長に就任し、間伐材・製材廃材を木質資源エネルギーとして積極的に有効活用していくため、木質バイオマスエネルギー供給施設を設置・運営するほか、森林の多様な資源を活用した地域づくりを行い、森林・木材資源の循環的利用を促進するなど、環境に配慮した事業経営を推進している。

そのほか、辻製油株式会社では代表取締役社長及び同会長を務め、日本で初めて精製に成功した高純度レシチンの開発をはじめ、地元農作物を使った商品開発や製油技術・ノウハウの提供を通じた県内大学との産学連携、県特産の柑橘類を有効利用した搾汁工場の創設等、地域資源を活用した経営に取り組んでいる。

このように、氏の商工業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

地域経済功労

大泉 源之

鈴鹿市 88歳



氏は、平成三年八月に鈴鹿商工会議所の議員に就任して以来、積極的な行動と厚い信望により、鈴鹿商工会議所会頭、三重県商工会議所連合会副会長等、県内の商工業の要職を永きにわたり務めた。

この間、地域活性化に主眼を置き、産業基盤整備、観光集客事業の展開、産学官交流事業の推進を掲げ、事業活動を推進した。特に、中勢バイパス及び新名神高速道路の整備に向けた要望活動や、鈴鹿の特色であるモータースポーツを生かした観光集客に取り組んだほか、鈴鹿の特色ある商品を鈴鹿ブランドとして認定する制度を創設した。また、産学官連携においては、地域の基幹産業である製造業の人材育成に向けた取組が、鈴鹿市ものづくり産業支援センターの設立に結実するなど大きな成果をあげている。

このほか、鈴鹿インター株式会社の代表取締役として、創業時より品質管理に重きを置くとともに、地場産業の変化に迅速に対応し業務の多角化・IT化を図ることで、同社を運輸・倉庫・部品組立の総合物流会社として県内九か所の事業拠点を持つ企業へと発展させるなど、地域の雇用創出に大きく貢献した。

このように、氏の地域経済の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

青少年育成功労

瀬古 和光

大紀町 70歳



氏は、昭和四十九年、大台地区少年警察協助手として委嘱を受け、平成十年に同協議会会長、三重県少年警察協助手連絡協議会理事に就任し、平成二十一年から同連絡協議会副会長、平成二十八年からは同連絡協議会会長を務めるなど、四十八年の永きにわたり、青少年の非行防止と健全育成を推進するためのボランティア活動に尽力してきた。

この間、地区内及び県内の協助手の代表としてリーダーシップを発揮し、警察と地域住民のパイプ役として連携強化に貢献するとともに、青少年の健全育成を推進する「青少年の日」における街頭補導や、パチンコ店に対する巡回補導及び不良行為少年の発見・通報活動の実施、支援対象少年等に対する農業体験教室等の居場所づくり活動への参加等、三重の未来を担う青少年の健全育成に向けた取組を積極的に推進してきた。

このほか、大紀町青少年健全育成町民会議に環境非行防止部会員として参加し、関係機関と連携しながら夏期の夜間パトロール活動を実施するなど、あらゆる機会を通じ青少年の非行防止と健全育成に向け精力的な活動を重ねてきた。

このように、氏の青少年育成に寄与した功績はまことに顕著である。